

平成28年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況について

国有林野事業では、国有林野の管理経営に関する基本的な事項を明らかにするため、あらかじめ国民の皆様のご意見を聴いた上で「国有林野の管理経営に関する基本計画」を策定しています。この計画に基づき国有林野の管理経営を行い、毎年、その前年度における実施状況を公表しています。

この度、国有林野事業を一般会計で実施する事業に移行して4年目に当たる平成28年度の実施状況を公表しましたので、その内容を紹介します。

公益重視の管理経営の一層の推進



重視すべき機能に応じた管理経営の推進
国有林野は、その多くが奥地脊梁山地や水源地域に分布し、公益的機能の発揮に大きな役割を果たしています。

国有林野事業では、山地災害防止タイプ、水源涵養タイプ等の機能類型区分ごとに適切な施策を行い、その結果として得られる木材を計画的に供給しています。

効果的な路網整備の推進

森林の適切な整備・保全、木材の供

給等を効率的に行うため、林道や森林作業道を適切に組み合わせた路網整備を進め、民有林への普及にも取り組んでいます。国有林野と民有林野が近接する地域では、両者が一体となった計画的かつ効率的な路網の整備に努めています。

治山事業の実施

安全で安心できる暮らしを確保するため、治山事業による荒廃地の復旧整備や大規模災害からの復旧、保安林の機能の維持・向上に向けた整備等を計画的に進めています。

平成28年4月に発生した熊本地震に

おいては、職員が民有林野の被害状況を調査し、被害を受けた民有林野の治山施設について、県からの要請を受け、国の直轄施行を実施しました【写真1】。

地球温暖化防止対策の推進

地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収・貯蔵を進めるため、間伐等の森林整備や治山施設等における木材利用に積極的に取り組む、平成28年度は約12・1万haの間伐を実施しました。

生物多様性の保全

原生的な森林生態系等について「保護林」や「緑の回廊」に設定し、モニタリングとその結果を踏まえた保護・管理と柔軟な区域等の見直しを推進しているほか、溪流等と一体となった森林の連続性の確保による森林生態系ネットワークの形成に努め、生物多様性の保全と持続可能な利用の推進に取り組んでいます。

森林・林業の再生に向けた貢献



我が国の森林・林業の再生に貢献するため、民有林関係者等との連携を図りながら、国有林の組織・技術力・資源を活用し、民有林経営への支援等に積極的に取り組んでいます。伐採・造林一貫作業などの低コスト施策等の普及を図るため、平成28年度は全国で253回の現地検討会等を実施したほか、民有林関係者約4,600名の参加を得ています。山形森林管理署最上支署では、最上町の森林作業道の作設計画の作成や、施工監理に関する技術支援を行っています【写真2】。



1 災害調査の実施状況(九州森林管理局)

森林環境教育や森林の整備等への国民参加の推進



学校等と森林管理署等が協定を結び、様々な自然学習等を進める「遊々の森」の設定・活用など、森林環境教育に係るプログラムの整備やフィールドの提供等に取り組んでいます。

また、ボランティア団体等と森林管理署等が協定を結び、国有林野をフィールドとして森林づくりを進める「ふれあいの森」等を設定し、国民参加の森林づくりを進めています。

国有林野の維持・保存



来訪者の集中による植生の荒廃等が懸念される世界自然遺産地域や日本百名山



2 町関係者への路網計画の説明（東北森林管理局）

等の森林での巡視等を行っています。

松くい虫被害やナラ枯れ等の森林病虫害の拡大を防ぐため、地方公共団体や地域住民等と連携しながら、伐倒駆除等の被害対策を推進しています。

また、シカによる被害を防止するため、地域の関係行政機関やNPO等と連携し、生息状況調査や個体数管理、防護柵設置等の被害防止対策やジビエ利用に向けた取組を行っています【写真3】。

国有林野の林産物の供給



木材の持続的・計画的な供給に努め、これまで未利用であった小径材等についても、安定供給を通じた新たな需要の開拓に取り組み、平成28年度は国産材の約2割に当たる413万㎡の木材（丸太換算）を供給しました。

また、国産材の需要拡大や加工・流通の合理化等に取り組む製材工場等と協定を締結して国有林材を安定的に供給



3 足用のくくりわなで捕獲されたシカ（四国森林管理局）

する「システム販売」や、民有林と連携した木材の協調出荷を推進し、国産材の安定供給体制の構築に取り組んでいます。

国有林野の活用



森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した国有林野を「レクリエーションの森」に設定し、地域と連携して環境整備や利用促進のPRに取り組んでいます。また、官民挙げてのインバウンドを推進するため、一部のレクリエーションの森に関して日本語・英語2か国語でのホームページを作成するなどPR強化に取り組んでいます【写真4】。

効率的な事業の実施



国有林野事業特別会計に属していた債務について、適切な森林整備を通じた収穫量の確保やコスト縮減等による計画的かつ効率的な事業の実行に努め、平成28年度は116億円の返済を行い、累積返済額は421億円となっています。

地域振興への寄与



国有林野は林産物の安定供給や貸付け・売払い、事業の民間委託や技術指導を通じて、地域産業への振興、住民福祉の向上等に貢献しています。

平成28年度には北海道日高町^{ひたか}で台風10号により国道の橋が一部崩落し集落が孤立したことを受け、国有林野内の林道等を一般車両が通行できるよう深夜に数時間で補修し、緊急避難路として提供することで、周辺住民の速やかな避難及び生活道の確保に貢献しました。

東日本大震災からの復旧・復興への貢献



東日本大震災において被災した海岸防災林の復旧・再生に取り組んでおり、植栽にあたっては、企業やNPO等の協力も得ながら取り組んでいます。また、関係機関と連携しながら生活圏周辺の国有林野の除染や、除染に関する知見の集積や技術開発のための実証事業等を行い、中断していた素材生産事業を今年度より試験的に再開しています。



4 レクリエーションの森を紹介する英語のホームページ

林野庁ホームページ
平成28年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況について

